

2026年度 法科大学院

第3期入学試験問題

3時限

刑法

(論文式)

試験時間 50分

注意事項

1. 試験開始の合図があるまで、この問題冊子の中を見てはいけません。
2. この問題冊子の1ページから問題が掲載されています。
3. 試験時間中に問題冊子の印刷不鮮明、ページの落丁・乱丁及び解答用紙の汚れ等に気付いた場合は手を挙げて監督に知らせてください。
4. 解答用紙には解答欄以外に記入欄がありますので、監督の指示に従ってそれぞれ正しく記入してください。
5. 解答は、必ず解答用紙の解答欄に記入してください。解答用紙の解答欄以外に記入された解答はすべて無効とします。解答用紙の裏面を使用する場合は「裏面に続く」と記載してください。
6. 解答用紙は各1枚しか配布しません。複数枚請求されてもお渡ししません。
7. 貸与した六法以外の参照は一切できません。
8. 試験問題の内容等について質問することはできません。
9. 問題冊子の余白等は適宜使用してかまいませんが、解答用紙の解答欄以外に記入された解答は無効とします。
10. 試験終了後、問題冊子は持ち帰ってください。

[刑法]

以下の事例におけるX、Y、Zの罪責について論じなさい（但し、住居侵入罪及び特別法違反の罪について論じる必要はない）。

（事例）

- （1） Y（成人の女性）は、令和5年7月1日夜に、V（成人の男性）を、某市の某ホテル内で殺害した。
- （2） その後、Yは、Vの頭部を、その胴体から切り離し、同月2日午前3時頃、某市のX（Yの父）方に運搬し、もってこれを隠匿した。
- （3） Yは、その後、X方浴室にて、前記Vの頭部から右眼球を摘出した。
- （4） Xは、Yが上記（2）の行為をする際、Yから立ち会うように求められ、特に何も言わないままYの側に立っていた。また、Xは、Yが上記（3）の行為をする際にも、Yから立ち会うように求められた。Xは、特に何も言わないままYの側に立っていたが、途中で同浴室から出て、リビングで休んでいた。
- （5） その後、Xは、Z（Yの母）から、「Yが、私に、Vの頭部を置いているX方浴室においてビデオ撮影するよう求めてきた。私は気乗りがしないので、Xがビデオ撮影してほしい。」旨を、口頭で依頼された。
- （6） Xは、YがVの頭部を損壊するかもしれないと思ったが、Zの依頼に応諾した。
- （7） そしてXは、X方浴室において、YがVの頭部を損壊する状況をビデオに撮影した。